

和木町子ども・子育て支援事業計画
進捗状況

令和元年度実績

令和元年度実績

和木町では「わきはあったか大家族～あいさつと子どもがたなく 地域のきずな～」を基本理念に、和木町子ども・子育て支援事業計画に基づき、幼児期の教育・保育と子ども・子育て支援の充実を図り、本計画に沿って各種の子育て支援施策（事業）を展開しています。

本計画に定めた子育て支援施策の点検評価を行い、質の高い保育や幼児期の教育、ニーズに応じた子育て支援事業の実現に向けた、現在の取り組みや内容及びその進捗状況を確認することで、あらたな課題の抽出や効果的な事業展開に役立てるとともに、今後の施策及び事業の見直し・改善に役立てていきます。

（１）教育・保育給付

■ 1号認定者（3歳～5歳、幼稚園及び認定こども園）

※5月1日在籍児童数（ ）は広域利用者数

単位：人

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
見込値	108	104	106	105	106
確保方策	108	104	106	105	106
実績値	109(0)	107(2)	118(4)	104(4)	96(3)
内部評価					
評価結果	共働き世帯の増加により年々1号認定こども数は減少傾向にあります。				
今後の方向性	継続維持				
今後の課題	ニーズを把握しながら定員管理を行っていく必要があります。認定こども園の定員数には達していないので、1号認定のこども定員を変更する必要はありませんが、人口減少によるもの、コロナウイルスによるニーズの変化等を見守る必要があります。				

■ 2号認定者（3歳～5歳、保育所及び認定こども園）

※4月1日在籍児童数（ ）は広域利用者数

単位：人

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
見込値	93	89	91	91	91
確保方策	93	89	91	91	91
実績値	85(7)	88(5)	97(7)	101(9)	97(11)
内部評価					
評価結果	令和元年度は、2号こども数は見込値を上回りましたが、クラス定員に余裕があるため、待機児童の発生はありませんでした。				
今後の方向性	継続維持				
今後の課題	3歳から5歳については、現状受け入れることが可能ですが、ニーズを把握しながら定員管理を行っていく必要があります。				

■ 3号認定者（0歳保育所及び認定こども園、地域型保育）4月1日在籍児童数

※地域型保育は該当なし（ ）は広域利用者数

単位：人

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
見込値	14	15	14	14	14
確保方策	14	15	14	14	14
実績値	2(0)	5(0)	6(2)	3(1)	5(2)
内部評価					
評価結果	年度当初は利用が少なく、年度末に向け増加していきますので、年度末には全て埋まってしまいます。				
今後の方向性	継続維持				
今後の課題	年によっては、ニーズが見込み量を超えてしまう恐れもあるため、適切な定員を設けていく必要があります。また、保育士の確保についても安定的に行っていく必要があります。参考：和木こども園の定員0歳は12名				

■ 3号認定者（1歳から2歳、保育所及び認定こども園、地域型保育）4月1日在籍児童数

※地域型保育は該当者なし

単位：人

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
見込値	55	56	55	54	54
確保方策	55	56	55	54	54
実績値	43(5)	48(4)	46(8)	43(8)	53(9)
内部評価					
評価結果	令和元年度については、年度当初より定員が上限の保育を行っており見込値を超過している状況です。				
今後の方向性	継続維持				
今後の課題	コロナ禍により家庭の経済状況も大きく変わりつつあります。ニーズが大きく変わることも予想されますので、安定的な受け皿の確保が必要となります。参考：和木こども園の定員は1歳定員24名、2歳定員30名				

(2) 地域子ども・子育て支援事業

■ 利用者支援事業

単位：箇所

事業内容：妊娠期から子育て期までの「子育ての不安感」に寄り添い、関係機関と連携し、切れ目のない支援を行う事業。和木町では令和元年6月子育て包括支援センターを保健相談センターに開設しました。					
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
見込値	1	1	1	1	1
確保方策	1	1	1	1	1
実績値	1	1	1	1	1
内部評価					
評価結果	令和元年度より保健相談センターにおいて利用者支援事業を実施しております。今後も母子保健を含めた総合的な相談業務を行ってまいります。				
今後の方向性	継続維持				
今後の課題	継続維持				

■地域子育て支援拠点事業

単位：人

事業内容：乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報提供、助言その他の援助を行う事業					
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
見込値	479	465	460	453	446
確保方策	479	465	460	453	446
実績値	735	1,282	1,390	814	860
内部評価					
評価結果	いずれの年度においても、利用実績値は高いので、ニーズが非常に高いものという結果になっています。				
今後の方向性	継続維持				
今後の課題	コロナ禍においては、事業休止をやむを得ない状況でした。				

■妊婦健康診査

単位：人、回

事業内容：妊婦の健康の保持及び増進を図るため、妊婦に対する下記①～③の健康診査を行っています。					
① 健康状態の把握					
② 検査計測					
③ 保健指導を実施するとともに、妊娠期間中の適時に必要に応じた医学的検査を実施					
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
見込値	910	924	910	882	882
対象人数	65	66	65	63	63
検診回数	14	14	14	14	14
実績値	832	974	753	858	718
対象人数	60	70	54	61	60
検診回数	14	14	14	14	14
内部評価					
評価結果	妊婦のほとんどが、健診を受診しています。				
今後の方向性	維持継続				
今後の課題	妊婦健康診査未受診者がいた場合、医療機関と連携を取りながら必要な支援を行う必要があります。				

■乳児家庭全戸訪問事業（乳児家庭訪問）

単位：人

事業内容：生後3ヶ月までの乳児のいるすべての家庭を訪問し、子育て支援に関する情報提供や養育環境等の把握を行う事業					
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
見込値	65	66	65	63	63
確保方策	65	66	65	63	63
実績値	70	75	77	62	63
内部評価					
評価結果	すべての家庭を訪問することができています。訪問により情報提供や養育環境等の把握など、必要な支援を提供しています。				
今後の方向性	継続維持				
今後の課題	長期間の里帰り等で家庭訪問が実施できない場合は、里帰り先の自治体に訪問を依頼するなど連携を取りながら支援を行う必要があります。				

■養育支援訪問事業等

単位：人

事業内容：養育支援が特に必要な家庭に対して、その居宅を訪問し、養育に関する指導・助言等を行うことにより、当該家庭の適切な養育の実施を確保する事業					
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
見込値	3	3	3	3	4
確保方策	3	3	3	3	4
実績値	15	19	23	18	42
内部評価					
評価結果	養育支援が必要な家庭を把握し、定期的に訪問を行うことができます。適切な養育の実施を確保することが出来るよう、指導、助言を行っています。				
今後の方向性	継続維持				
今後の課題	年々、支援が必要な家庭が増加している現状があります。家庭の状況に合わせた支援を行っていく必要があります。				

■子育て短期支援事業（ショートステイ）

単位：人

事業内容：保護者の疾病等の理由により家庭において養育を受けることが一時的に困難となった児童について、児童養護施設等に入所させ、必要な保護を行う事業					
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
見込値	0	0	0	0	0
確保方策	0	0	0	0	0
実績値	0	0	0	0	5
内部評価					
評価結果	令和元年度より事業化し「ライクホームはるか」及び「NP 法人とりで」に事業を委託しています。				
今後の方向性	継続維持				
今後の課題	ニーズに応じた対応が可能な体制を構築する必要があります。				

■ファミリー・サポートセンター事業（低年齢及び高学年）

単位：人

事業内容：乳幼児や小学生等の児童を有する子育て中の保護者を会員として、児童の預かり等の援助を受けることを希望する者と当該援助を行うことを希望する者との相互援助活動に関する連絡、調整を行う事業					
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
見込値	0	0	0	0	0
確保方策	0	0	0	0	0
実績値	0	0	0	0	0
内部評価					
評価結果	事業を実施していません。				
今後の方向性	継続維持				
今後の課題	周辺自治体等の状況等を把握。ニーズが見込まれるようであれば、事業実施に向けた調査研究を行う必要があります。				

■一時預かり事業（幼稚園在園児対象1号認定者）

単位：人

事業内容：主に、1号認定こどもが利用している認定こども園や幼稚園で教育時間以外の時間で一時的に預かり、必要な保育を行う事業					
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
見込値	543	533	549	554	538
確保方策	543	533	549	554	538
実績値	322	242	566	322	140
内部評価					
評価結果	共働き世帯の増加により1号認定こども数が減少傾向になります。また、新型コロナウイルスの影響に利用者数は減少傾向となっております。				
今後の方向性	継続維持				
今後の課題	継続維持				

■一時預かり事業（在園児対応以外）

単位：人

事業内容：家庭において保育を受けることが一時的に困難となった乳幼児について、主として昼間において、認定こども園、幼稚園、保育所、地域子育て支援拠点及びその他の場所において一時的に預かり、必要な保護を行う事業					
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
見込値	439	428	432	431	422
確保方策	439	428	432	431	422
実績値	16	20	44	76	79
内部評価					
評価結果	令和元年度においては、和木こども園が開園したことによる、サービス拡充により利用者が増加しました。現状、全ての利用希望を受けることができていない状況です。また、他市町に居住している方も利用（広島広域圏内）することができます。				
今後の方向性	継続維持				
今後の課題	継続維持				

■時間外保育事業（延長保育事業）

単位：人

事業内容：保育認定を受けた子どもについて、通常の利用日及び利用時間以外の日及び時間において、認定こども園、保育所等において保育を実施する事業					
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
見込値	58	57	57	57	56
確保方策	58	57	57	57	56
実績値	58	37	41	29	182
内部評価					
評価結果	令和元年度においては、和木こども園開園に伴い利用者数は大幅に上回っています。				
今後の方向性	継続維持				
今後の課題	継続維持				

■病児病後児保育事業

単位：人

事業内容：病児・病後児について、病院・保育所等に付設された専用スペース等において、看護師等が一時的に保育等をする事業					
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
見込値	0	0	0	0	0
確保方策	0	0	0	0	0
実績値	2	1	24	51	37
内部評価					
評価結果	令和元年度実績値：岩国市7人、大竹市30人利用（延べ人数） 和木町には、病児保育を実施する施設がないため、広島広域で相互の利用協定を締結し利用している状況です。				
今後の方向性	継続維持				
今後の課題	継続維持				

■放課後児童クラブ（放課後健全育成事業）4月1日在籍児童数

単位：人

事業内容：保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童に対し、授業の終了後に小学校の余裕教室、児童館等を利用して適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図る事業					
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
見込値	120	126	121	115	113
確保方策	120	126	121	115	113
実績値	98	101	93	102	107
内部評価					
評価結果	令和元年度は、低学年児童が多く6年生の児童の利用ができませんでした。				
今後の方向性	継続維持				
今後の課題	現状維持				

■乳幼児健康診査受診状況

単位：人、%

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
1か月健診	対象者	68	88	70	68	64
	受診者数	60	78	64	65	62
	対象者	88.2	88.6	91.4	95.6	96.8
3か月健診	対象者	77	79	83	70	64
	受診者数	75	73	77	67	61
	対象者	97.4	92.4	92.8	95.7	95.3
7か月健診	対象者	85	74	85	58	68
	受診者数	75	65	81	45	68
	対象者	88.2	87.8	95.3	82.8	100.0
10か月健診	対象者	82	76	80	61	73
	受診者数	61	64	58	53	56
	対象者	74.4	84.2	72.5	86.9	76.7
1歳児検診	対象者	78	70	92	60	70
	受診者数	71	59	73	59	60
	対象者	91.0	84.3	79.3	98.3	85.7
内部評価						
評価結果	現状の受診率を維持していくことが必要です。					
今後の方向性	継続維持					
今後の課題	継続維持					

■学校児童数の推移

単位：人

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
和木小学校	403	427	420	429	418	427
和木中学校	196	174	181	183	197	192

各年5月1日現在

保育サービスの拡充

■和木こども園の開園に伴い、保育時間を延長しました。

平日：7時30分～19時（旧：7時30分～18時）

土曜日：7時30分～17時（旧：7時30分～14時）

青少年健全育成の推進

■11月28日に「背少年問題の現状と地域としてできること」と題し、小中学校の現状、わきスクールガードの取り組み、和木中在所により青少年の現状について報告がありました。また、会議終了後保護者、教員を対象とした、NTTドコモによるスマホ・ケータイ安全教室も行いました。

基本目標2 子どもが健やかに生まれこころ豊に育つ環境づくり

■1歳6か月児童診査受診状況

単位：人、%

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
対象者		71	80	73	80	56
一般	受診者数	71	75	67	77	55
	受診率	100.0	93.8	91.8	96.3	98.2
歯科	受診者数	71	75	67	77	55
	受診率	100.0	93.8	91.8	96.3	98.2

■2歳児歯科健康診査受診状況

単位：人、%

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
対象者		75	80	65	75	70
受診者数		72	77	62	73	64
受診率		96.0	96.3	95.4	97.3	91.4

■3歳児健康診査受診状況

単位：人、%

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
対象者		83	75	86	62	74
一般	受診者数	82	68	81	63	67
	受診率	98.8	90.7	94.2	101.6	90.5
歯科	受診者数	82	68	81	63	67
	受診率	98.8	90.7	94.2	101.6	90.5

■妊婦相談

母子健康手帳交付・妊婦相談の状況

単位：人

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
対象者数		80	88	77	69	67
（うち転入者）		8	10	8	5	6

■離乳食・乳児食教室の実施状況

単位：人

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
参加者数	47	25	27	27	14
離乳食	27	25	23	20	14
幼児食	20	0	4	7	0

■開催回数

単位：回

	離乳食教室	幼児食教室
参加者数	2	0

■育児相談の実施状況

単位：回、人

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
開催回数	24	24	24	24	21
初回参加者	144	119	121	109	106
延べ参加者数	325	297	299	272	261

子どもの健やかな成長への支援

■不妊治療対策事業

30,000円を上限に年1回通算5回までの不妊治療の一部助成を行っています。

件数	補助額
5件	91,510円

■町外私立保育園等に通う方へ給食費の助成

件数	補助額
12件	189,313円

子どもの健やかな育成を支える個人給付サービスの実施（令和元年度）

■中学生以下の子どもさんを対象に、必要な医療を安心して受けられ、疾病の早期診断、早期治療を促進し、健康の保持と増進を図っています。

福祉医療費（県制度）			子ども安心医療	合計
	乳幼児	ひとり親		
対象者数	284人	97人	740人	1,121人
医療費給付額	8,431,377円	3,890,630円	20,777,397円	33,099,404円

■任意予防接種助成事業

単位：件

町内の医療機関で予防接種を受ける場合の接種費用の一部を負担しています。

		助成件数
ロタウイルス（1価） 7,500円/回	1回目	16
	2回目	17
ロタウイルス（5価） 5,000円/回	1回目	40
	2回目	36
	3回目	27
おたふくかぜ 3,000円/回	1回目	41
	2回目	21
インフルエンザ 2,500円/回	1歳～小学6年	809
	中学1年～2年	35

事業額：3,058,500円

障害児施策の充実

■相談支援体制の充実 岩国市内3事業所に委託し、相談支援体制の強化を推進しています。

■児童福祉年金の支給

対象者数	支給額
24人	1,683,331円

■難聴児補聴器等購入等の助成

対象者数	補助額
1人	61,342円

■岩国市障害児等総合療育相談訓練等事業負担金 1,174,000円

基本目標3 こどもの成長を支える教育環境の整備

幼児教育の充実（令和元年度）

■和木こども園保育教諭の教育研修

和木こども園保育教諭等延べ38回研修に参加、職員一人ひとりのスキルアップを図りました。

■配慮の必要な子どもたちへの支援

和木こども園において、4名の加配の職員を配置しました。

■認定こども園・小学校・中学校の連携について

令和元年度については、3回の合同研修会及びICT研修会3回を共同で実施、和木町コミュニティスクール協議会も3回実施し、園・小・中代表者が参加し、連携を深めました。

就学児童の居場所づくり（令和元年度）

■わきっこクラブの開設時間を平日18時30分まで開設としました。

※18時以降は延長保育料がかかります。

■放課後こども教室実績値

	令和元年度実績値
わきあいキッズ	登録者数：82名（小中学生含む） 実施教室数：60教室 延べ参加者数：1,585名

子どもの生きる力の育成に向けた教育環境等の整備（令和元年度）

■ICT教育の推進

和木中学校のパソコン教室のPCの更新を行いました。

事業額：10,230,000円

■教職員のICT支援

ICT支援員を活用し学校教職員が、ICT機器を活用しやすい環境作りの支援を行いました。

■国際教育の推進

- ・ALT1名、国際交流支援員1名により、学校教育施設等において様々英語教育活動を行いました。
- ・中学生海外派遣事業により和木町在住の中学生14名をオーストラリアに派遣しました。

基本目標4 多様な働き方に対応した子育て支援の展開

■広域病児・病後児 利用者数：37名（大竹市・岩国市の施設利用分）

負担金拠出額：312,128円

■父子手帳の交付件数67件

※妊娠届時に父子手帳を交付しています。

基本目標5 子どもが安全・安心に過ごせる生活環境の整備

安全・安心な道路環境の整備

■瀬田遊園地の宅地開発に伴い、安全対策として通学路の整備を行いました。

■和木町通学路安全推進会議

通学路における交通安全を確保することを目的として、8月27日に通学路の安全対策会議を実施しました。

■2018年度に作成した「和木町安全マップ」を和木町ホームページ上でも確認することができるようにしました。

子どもを犯罪等の被害から守るための活動の推進

■令和元年度家庭用防犯カメラの設置事業

12台の設置に係る費用の一部318,000円を助成しました。

■防犯パトロールの実施

町内を中学校教員、和木駐在所、PTAと連携し、月1回町内を巡回しています。

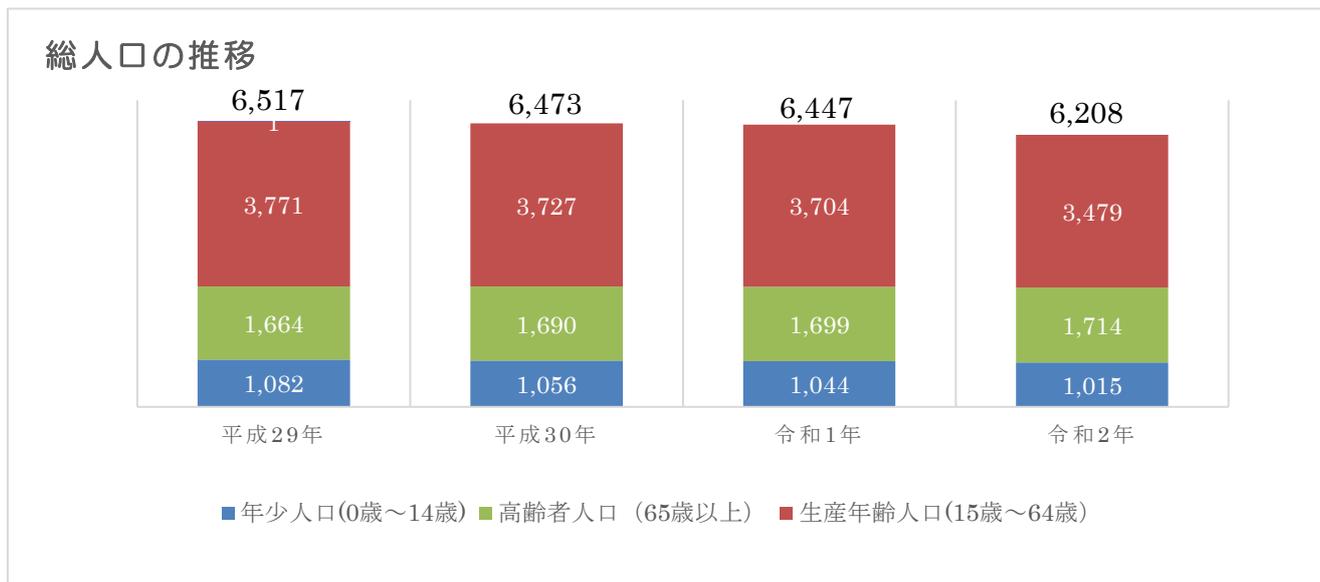
■わきスクールガード

登録者20名がジャンパー、ベスト、腕章を身に着け、日々の児童生徒の登下校の見守りを実施しました。

参考資料：和木町の人口の推移

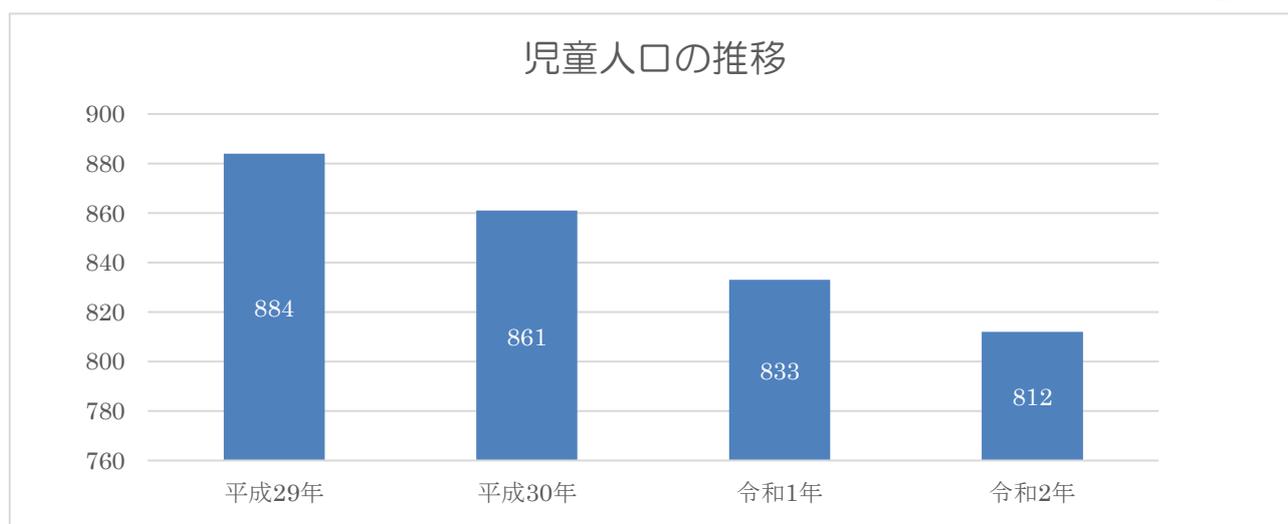
和木町の人口の推移

単位：人



資料：住民基本台帳（各年3月31日）

単位：人



資料：住民基本台帳（各年3月31日）

■ 令和2年度国勢調査の速報値は次のとおりとなりました。

平成27年	令和2年
2,595 世帯	2,475 世帯
6,286 人 (男 3,102 人 女 3,184 人)	6,035 人 (男 2,942 人 女 3,093 人)

■ 合計特殊出生率

最新の合計特殊出生率は 1.89 となりました。前回数値の 1.77 と比較しても、0.12 上昇しており、山口県内でも一番高い数値となっております。

この数値からも、出生数の減少による人口減少はゆるやかなものであると推測されますが、転出による人口減少が懸念されます。